

競技者・指導者等のスポーツキャリア形成支援事業における  
「スポーツキャリア大学院プログラム」の概要について

1 委託先選定経緯

- (1) 本事業の委託先選定については、公募・企画競争により実施した。  
当省ホームページにおいて公募を行い、事業の実施を希望する大学から企画提案書を受け付けた。
- (2) 企画提案書については、4月23日にスポーツ・青少年局競技スポーツ課委託事業選定委員会（外部有識者6名）を開催し、委託要項、公募要領及び審査基準等に従って、各評価項目について5段階評価及び総合評価を行い審査を実施した結果、次の5大学を採択案件として選定した。  
大学名：仙台大学、福島大学、筑波大学、早稲田大学、鹿屋体育大学
- (3) 審査基準は、次のとおりである。
- ①事業実施主体に関する評価
  - ②事業内容に関する評価
  - ③長期ビジョン（平成23年度以降の計画）に関する評価

2 事業内容は、下記のとおりである。

- |   |
|---|
| <p>(1) 事業実施に向けた計画づくり</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①大学院の単位認定を視野に入れた事業の企画・立案</li><li>②JISS、JOC、NF等関係団体等との連携促進方策</li><li>③他大学とのネットワークづくり</li><li>④事業実施に向けた組織づくり</li></ul> <p>(2) 事業実施に向けたプログラムづくり</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①トップレベルのスポーツ指導者講習会の趣旨や目的等に即した内容の研究・開発</li><li>②開発されたプログラムを大学院の単位認定、履修証明書の交付のための大学内の調整と事務手続きの整備</li><li>③大学間の連携による単位の相互認定が可能となるための条件整備</li></ul> <p>(3) 開発したプログラムの公表及び活用方策</p> <p>(4) 事業終了後の継続方策</p> |
|---|

※ 上記事業内容を踏まえ、大学の特性を活かした取組も認める。

◇別紙（ポンチ絵）を添付

# スポーツキャリア大学院プログラム

ナショナルコーチアカデミー(NCA)等のトップレベルのスポーツ指導者養成プログラムをもとに、大学と連携し、実践と理論、諸科学を組み合わせた教育プログラムを開発する。講習後、大学院の単位としての認定や履修証明の発行など、受講者のキャリアアップにつなげることにより、大学院に進学してより優れた指導者となり、自らの貴重な経験・ノウハウ等を次代の競技者に伝えたり、JOC専任(ナショナル)コーチ等を経験した後も大学教員等の指導者や国際舞台等多方面で活躍する人材の育成を図る。

公募を経て5大学(仙台大、福島大、筑波大、早稲田大、鹿屋体育大)にプログラム開発を委託



## スポーツキャリア大学院プログラム

JOCナショナルコーチアカデミーや他のトップレベルスポーツ指導者養成プログラムで行われる講義、演習等について、大学院レベルでのプログラムを開発し、指導者のキャリアアップにつなげる仕組みを構築。

大学連携会議を開催し、  
単位の相互認定等拡充及び連携の推進

受講した講習会をもとに、トップレベル指導者の大学院等への進学を後押し

指導者のキャリアパス取得促進と優れた指導者の育成